

来月の消費予報

6月としては過去最低値。 ボーナスで余裕が生まれるも、「今は様子見」の声が増加

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。

6月の消費意欲指数は45.3点。前月比は-1.2ポイントと横ばいですが、前年同月比は-2.3ポイントで、6月としては過去最低値となりました。

6月の消費意欲指数



↓ 前月比 -1.2 ポイント

↓ 前年同月比 -2.3 ポイント

↑ : 前月比/前年同月比で上昇 ↓ : 前月比/前年同月比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。※詳細は4ページ

カテゴリー別 消費意向



★ UP : 前年同月比で 20 人以上増加 ● DOWN : 前年同月比で 20 人以上減少

「来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ・利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月と比較して作成。 ※詳細は4ページ
2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

6月のポイント

Point 1 : 節約意識がゆるむ一方、様子見の傾向が強まり消費意欲は伸びず

ボーナスシーズンの6月を迎えるにあたり、今年は昨年に比べて金銭的な余裕を感じている人が多いようです。消費意欲指数の理由(自由回答)を見ると、今年は「金銭的に余裕がある」(16年6月61件→17年6月77件)が前年同月と比べて増加したほか、「今月までに多く使った反動でセーブ」(16年6月174件→17年6月137件)、「節約したい」(16年6月50件→17年6月26件)などは減少しています。

一方で、消費意欲指数は前年同月を割り込み、6月としては過去最低値となりました。「今は様子見」(16年6月79件→17年6月100件)や「特別欲しいものがない」(16年6月331件→17年6月367件)といった声が前年同月より増加したほか、特に買いたいモノ・利用したいサービスにおいても、「ファッション」「日用品」「書籍・エンタメ」「理美容」の4項目において前年同月から20人以上減少しています。金銭的余裕が生まれている割に、消費意欲の高まりはみられません。

「年末年始、夏休みなどの明確な消費機会がある時にしか消費しない」という消費スタイルが浸透し、多少の金銭的余裕には左右されなくなりつつあるようです。

Point 2 : 男性20代の消費意欲指数は、調査開始以来の最低値

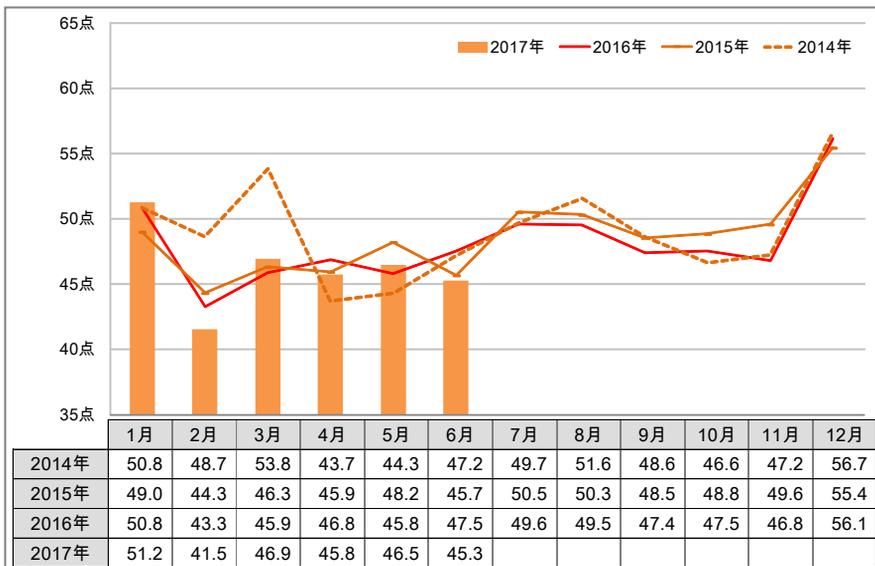
6月は、20代の消費意欲指数が男女ともに、6月としての過去最低値を記録。特に男性20代は、調査開始以来の最低値となりました。男性20代は、2016年12月に男性としては過去最高の59.8点を示したものの、アップダウンが激しくなっており、6月の下げ幅は前月比-7.9ポイントと過去2番目に大きな下げ幅(2017年2月の前月比-9.0ポイントに次ぐ数字)となっています。消費への意欲を解放する月と引き締める月のメリハリを、これまで以上にはっきりとつけるようになってきたことがうかがえます。

消費意欲指数

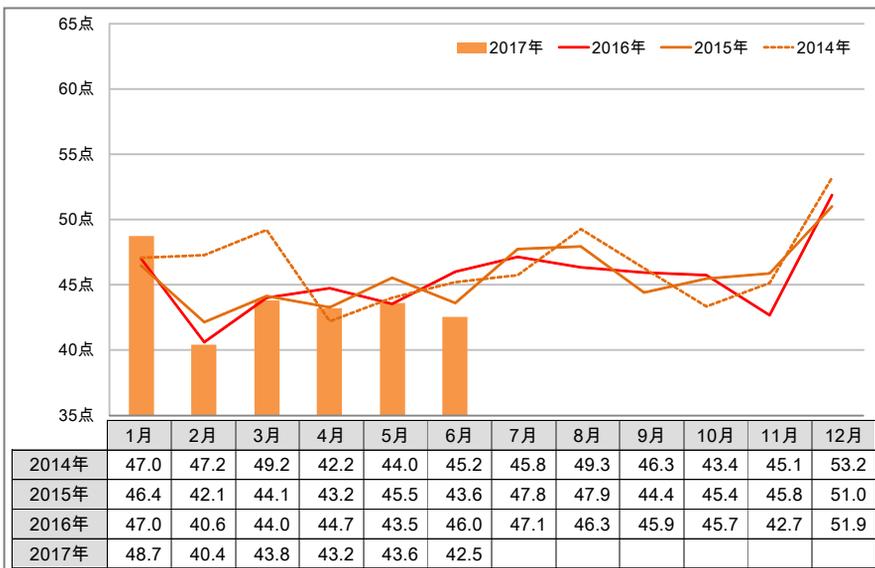
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

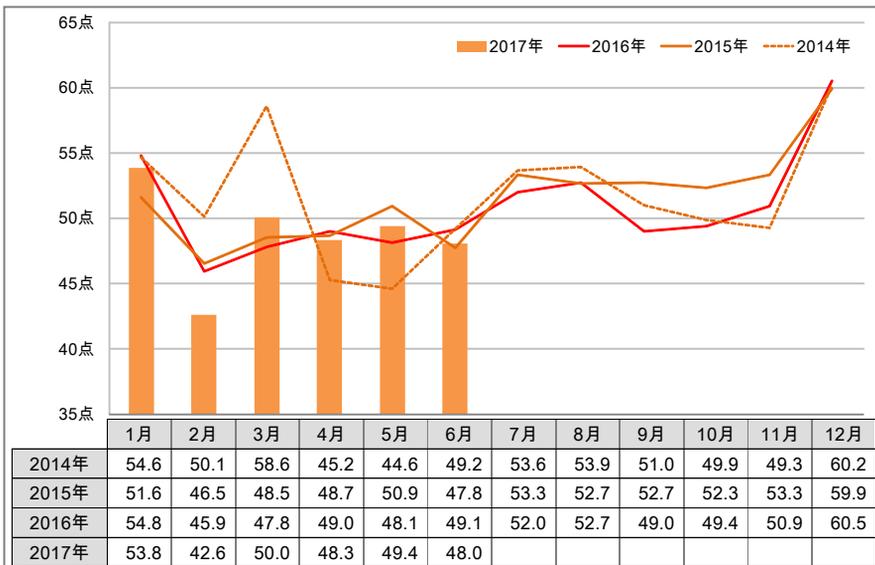
【全体】



【男性】



【女性】



■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【金銭的に余裕がある】

- ・来月ボーナスが出るので旅行を予定しているため(100点・女性28歳・岐阜県)
- ・厳しい財布事情ながらもボーナス支給月であるから(70点・男性38歳・兵庫県)
- ・ボーナスがあるので、日頃我慢してるもの、特に、高いものを買いたいと思います(100点・女性43歳・大阪府)
- ・ボーナスをもらってから買い物をしたい(80点・女性58歳・東京都)
- ・これといって特にほしいものはないが、ボーナスが入るので思い切って何か高額な商品を日頃の苦勞のご褒美として買いたい気持ちがある(75点・男性60歳・埼玉県)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【意欲はあっても、今は様子見】

- ・欲しいものはあるが、絶対的に欲しいというわけではないので50点にしました(50点・女性26歳・大阪府)
- ・買いたいものはあるが、まだ先延ばしできそうな物だから(50点・女性36歳・埼玉県)
- ・今のところ欲しい物がありません。興味のある商品ができれば消費意欲も上がると思います(50点・女性44歳・兵庫県)
- ・買いたいものは、ありますが6月に限定していません(0点・男性56歳・愛知県)
- ・現在は充電中で、次の活動のため消費を我慢している状態です(20点・男性60歳・愛知県)

()内点数:消費意欲指数

特に買いたいモノ・利用したいサービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2017年6月(%)	前月比(pt)	前年同月比(pt)
全体	23.7	-4.4	-1.6
男性	21.6	-4.9	-0.7
女性	25.8	-3.8	-2.5

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(355人)

参考:男性(162人)

参考:女性(193人)

順位	カテゴリー	6月(人数)	前年同月比
1	ファッション	195	-22
2	外食	144	-2
3	食品	140	-9
4	旅行	126	+19
5	飲料	101	-18
6	書籍・エンタメ	90	-23
7	レジャー	89	-3
8	化粧品	84	-14
9	理美容	81	-23
10	家電・AV	77	-13
11	日用品	64	-24
12	装飾品	61	+5
13	インテリア用品	49	-3
14	スマートフォン・携帯電話	44	+8
15	パソコン・タブレット・周辺機器	39	-19
16	車・バイク	33	-15

順位	カテゴリー	6月(人数)	前年同月比
1	ファッション	70	-2
2	食品	61	+6
3	外食	60	+5
4	旅行	58	+13
5	書籍・エンタメ	52	-9
6	飲料	50	+8
7	家電・AV	43	-8
8	レジャー	40	+4
9	パソコン・タブレット・周辺機器	30	-14
10	車・バイク	29	-6
11	装飾品	26	+1
12	スマートフォン・携帯電話	24	-2
13	理美容	22	+2
14	日用品	21	-5
15	インテリア用品	15	-4
16	化粧品	9	±0

順位	カテゴリー	6月(人数)	前年同月比
1	ファッション	125	-20
2	外食	84	-7
3	食品	79	-15
4	化粧品	75	-14
5	旅行	68	+6
6	理美容	59	-25
7	飲料	51	-26
8	レジャー	49	-7
9	日用品	43	-19
10	書籍・エンタメ	38	-14
11	装飾品	35	+4
12	家電・AV	34	-5
12	インテリア用品	34	+1
14	スマートフォン・携帯電話	20	+10
15	パソコン・タブレット・周辺機器	9	-5
16	車・バイク	4	-9

<全体にのみ下記基準で色付け>

■ : 前年同月比で20人以上増加

■ : 前年同月比で20人以上減少

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

※2016年11月調査より、各カテゴリーを選択した実人数の前年同月比に変更しています。

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(6月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(6月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要 生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。

調査地域 ①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏

調査対象者 20～69歳の男女

対象者割付 調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

サンプル数 合計1,500人

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	150	189	140	148	751
女性	121	147	185	138	158	749
合計	245	297	374	278	306	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2017年5月8日(月)～10日(水)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)

調査機関 株式会社 東京サーベイ・リサーチ

<備考>

2016年1月まで発行していた「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、「来月の消費予報」がその後を引き継いでいます。「生活インデックスレポート(消費動向編)」は、毎月初旬に当月の消費意欲指数を発表していましたが、「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

問い合わせ先 株式会社博報堂 博報堂生活総合研究所(十河・酒井) TEL.03-6441-6450
株式会社博報堂 広報室(西尾・大足) TEL.03-6441-6161

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<http://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2017-05/>)からダウンロードしていただけます